

平成22年2月24日

文部科学大臣
川端 達夫 様

全日本中学校長会
会長 岩瀬 正司

中学校の学級編制及び教職員の定数の標準に関する意見書

わが国の将来の発展を強く願い、子どもたちの夢や希望を育むことは教育の重要な役割です。私たち教職員は、その教育を担う重責を自覚し、日々研鑽に励み、子どもたち一人一人の発達課題を理解し、「生きる力」、確かな学力等の育成に心を砕いています。

しかし、現在、学校は多様化・複雑化する諸課題に直面し、教職員は子どもたち一人一人とじっくり関わる時間すら十分に確保できないのが実情です。中央教育審議会が、平成20年1月に答申した「幼稚園、小学校、中学校、高等学校及び特別支援学校の学習指導要領等の改善について」において指摘しましたように、「教師が子どもと向き合う時間の確保」、「効果的・効率的な指導のための条件整備」は喫緊の課題です。そのため、充実した教育活動が展開されるよう、改めて学級編制及び教職員定数の標準の見直しを強くお願いいたします。

記

1 学級編制の標準を見直し、通常学級にあつては、1学級の生徒数を35人とすること、特別支援学級にあつては、1学級の生徒数を5人とすること

全日本中学校長会の調査によれば、第1学年の学級編制において、「公立義務教育諸学校の学級編制及び教職員定数の標準に関する法律」（以下、「標準法」と記す。）の規定を下回って学級編制を実施している道府県に、その効果について聞いたところ、次のような効果があると報告されています。（別紙資料1参照）。

○生徒一人一人に目が行き届き、個に応じたきめ細かな学習指導が行え、学力向上に効果があり、学校生活も安定する。

○生徒は集団内における所属感・存在感を得られやすく、様々な問題行動や不登校の改善、予防に効果がある。

全国全ての中学生がそうした恩恵を受け、充実した中学校生活を送ることができるよう、標準法を見直し、全学年とも1学級の標準生徒数を35人にしていただきたい。

また、特別支援学級にあつては、学級の実態として、特別支援学校等において、より専門的な指導・支援を必要とする、障害の重複、重度化した生徒が多く在籍するようになってきています。こうした特別支援学級の実態を理解いただき、現在、標準法により1学級8人と定められている基準を見直し、5人程度にしたい。

さらに、学年や教科の特性を考慮し、1学級35人を標準としつつも実際の学級編制に際しては、教職員定数内において校長に大幅な裁量権を与えていただきたい。

2 教職員定数の標準を見直し、全教科の教員を配置することを原則とし、平均して学級数の2倍の教員配置を標準とすること

教科担任制の中学校では、1学級の増加は授業時数の週29時間増加となり、教員が1人増配置されても、教員の担当授業時数がかえって増大する結果となります。

そこで、教員一人一人が子どもと向き合う時間を十分確保するとともに、多様化・複雑化する教育の諸課題に迅速・的確に対応するためには、教員1人当たりの担当授業時数を軽減する必要があります。その目安としては、教員1人当たり1日に2時間(コマ)の教科指導以外の業務に専念できる条件整備が是非とも必要であると考えます。

この考えに基づいて試算すれば、教員1人当たり週担当授業時数は19時間(コマ)が上限となり、学級数に応じた教員配置数としては、平均して「学級数×2」人の配置が必要となります。(別紙資料2参照)。

また、現行の標準法では、教職員定数に教頭、講師が含まれているため、学校運営上の課題に加えて、授業の質の確保・向上の視点からも課題が多く見られます。

そこで、標準法の規定の見直しに当たっては、新学習指導要領の円滑な実施のためにも、全教科の授業が正規教員によって行われるよう、平均して学級数の2倍の教員を配置していただきたい。

3 加配教員、教頭(副校長)、免許外指導について

① 少人数指導等の指導法改善に係る教員加配の充実を図ること

現在、教員の加配を受けて習熟度別指導等による少人数指導、複数教員によるティーム・ティーチング指導等が、多くの学校で実施されています。全日本中学校長会の調査によれば、様々な効果があることが報告されています(別紙資料3参照)。

今後とも、その充実を図ることが是非とも必要です。さらに小規模校では、指導法等の改善のための加配教員が配置され、大きな効果をあげています。新しい定数改善計画の策定においては、指導法等の改善のための加配教員の充実を引き続き推進していただきたい。

② 教頭(副校長)を教員定数外で配置すること

現在、教頭(副校長)職にありながら、教科指導を担当している学校で多く見られます。多様化・複雑化する教育の諸課題に迅速・的確に対応するためには、教頭(副校長)の役割はますます重要となります。しかし、実際は、書類処理、対外折衝等で多忙を極め、長時間の勤務時間外勤務を余儀なくされているのが教頭(副校長)です。そうした教頭(副校長)職に魅力を感じることができず、管理職を目指す教員が大幅に減少し、大きな課題となっている都道府県も存在します。少なくとも、教科指導の担当は教頭(副校長)の職務から除外し、本来の職務に専念できる体制を整えていただきたい。

③ 免許外指導を完全に解消すること

全日本中学校長会の調査によれば、今年度、全国1万弱の中学校において、7179名の教員が臨時免許により教科指導を行っています(別紙資料4参照)。新学習指導要領の改訂の趣旨を生かし、その円滑な実施を可能とするためには、教員の指導力の向上は欠かすことができません。臨時免許による免許外指導はそうした条件整備を阻害する大きな要因となります。全国全ての中学校において、臨時免許による免許外指導を一切なくすための教員配置定数の改善を早急に行っていただきたい。

全日本中学校長会「学級編制に係るアンケート調査」集計結果(調査時期=平成22年1月)

◎都道府県が取り組んでいる少人数学級の効果と課題について

<p>(1)独自の取組状況</p> <p>○第1学年</p> <ul style="list-style-type: none"> ・30人学級=5府県 ・33人学級=3県 ・35人学級=16道県 ・36人学級=1県 ・38人学級=1県 <p>○第2・3学年</p> <ul style="list-style-type: none"> ・33人学級=1県 ・35人学級=4県 <p>○一部で実施(弾力的運用)=6県</p> <p>(2)効果</p> <ul style="list-style-type: none"> *生徒に目が行き届き、きめ細かな学習指導・生徒指導が行え、学校生活が安定する。 *集団内における所属感、存在感を得られやすい。 *中1ギャップ対応が効果的に行える。 *個に応じた指導がきめ細かく行え、学力向上に成果。 *生徒理解が深まり、きめ細かな指導が可能。 *不登校の予防に効果がある。 	<p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●学級が1増えると週28時間授業時数が増加する。教員が1名増えただけでは対応できず、教員への負担が増える。地域によっては免許外教員による指導や非常勤講師による指導となり、指導の質の確保が困難となる。 ●教科によって持ち時数にアンバランスが生じ、負担が大きく偏ることになる。 ●学年進行によって編制基準が異なると、生徒数が極端に多くなり(倍になる場合がある)、指導が困難になる場合がある。 ●教室の確保が困難になる学校がある。 ●学習集団が小さくなりすぎると、教科によっては十分な教育効果があげられなくなる場合もある。また、生活集団としては、学校行事等においてそのねらいを十分に達成できない場合もある。 ●教員間の連携が重要になる。指導計画、評価計画等の立案に時間を割く必要がある。 ●教員の指導力の向上、質の確保が重要になる。
---	---

No.	効果	課題
1	30人程度の学級編制。 ○中1ギャップへの対応が容易になる。 ○教員が増え、多様な指導が可能となり、学力向上につながる。	●加配が講師対応では効果は小さい。
2	1年30人、2・3年33人学級。 ○生徒・保護者からの評価が高い。 ○生徒指導面での効果も大きい。	●少人数指導に関する指導法の改善充実が不可欠である。 ●講師対応では、質の確保が課題。
3	30～32人学級。 ○生徒を細かく観察したり、指導したり、また、個々の生徒に生じる課題への対応については機能している。	●学習集団が固定化されるため、人間関係上のトラブルが生じる。学校行事や体育の授業等において、集団が十分機能せず、盛り上がり欠ける場合がある。
4	1年30人学級。 ○きめ細かな進路指導が行える。	●他の学年は40人学級である。市の単独予算では限界がある。
5	1年30人学級。 ○学習面・生徒指導面ともにきめ細かな指導が充実。 ○不登校の減少が顕著。	●学級増に伴う教員配置が十分でない。 ●30人学級から40人学級への学年進行で混乱が見られる。
6	全学年33人学級。	●数値による効果検証は、実際問題として困難であり、そのことにより財務当局の理解を得ることが厳しい状況にある。
7	1年33人、2・3年40人 ○一人一人にきめ細かな指導が可能となる。 ○学級内の生徒同士の間関係が把握しやすく、指導しやすい。	●教科や単元によっては一定数以上の生徒集団にする必要がある。 ●自治体によって格差がある。

8	全学年33人学級。 ○教科指導・生徒指導において、きめ細かな指導が可能となっている。	●正規教員が配置されず、講師対応のため、講師に学級担任をさせざるを得ない状況になっている。担任の確保が課題。
9	1年35人学級。 ○中1ギャップの解消効果。	●2年生になると急に学級の生徒数が多くなるため、学校不適応が増え、不登校生徒が増える傾向にある。
11	1年35人学級。 ○中1ギャップへの対応などに有効である。 生徒指導面でも有効。	
12	35人学級。 ○個に応じた時間が確保され、よりきめ細やかな対応ができる。	●学級増に伴う教室の確保が課題。 ●生徒数と指導効果の関係の見極め
13	1年35人か40人かを選択できる。 ○生徒へのきめ細かな学習指導や生徒指導が可能となる。	●教科によって負担が大きくなる。
14	1年35人学級。 ○目が行き届き、個に応じた指導ができる。	●少人数加配の人数が減らされる可能性がある。
15	1年35人学級。 ○中1ギャップを克服するきめ細かな指導で成果を上げている。	
16	1・2年で35人学級。22年度からは全学年で実施。	
17	1年35人学級。 ○中1ギャップへの対応などに有効である。 きめ細かなフォローができる。	
18	1年35人学級。 ○学校の運用で、どの学年で利用してもよい。	●学年進行により、2年次には40人に戻ることになり、学校独自で少人数学級を行わなければならなくなる。
19	1年35人学級。 ○生徒一人一人にきめ細かな指導が可能となり、中1ギャップの解消に効果がある。	●学年進行により、2年次に40人になるため、学級経営が難しくなる。
20	全学年35人学級。 ○生徒とのコミュニケーションが図られ、個に応じた指導・評価ができる。	●学級集団の中での存在感、所属感を高める工夫が必要である。
21	1年35人学級。2・3年は弾力性のある40人学級。 ○学習面・生徒指導面などきめ細かな指導ができる。	●学級増に伴う適正な加配教員の配置が必要である。(講師対応になっている)
22	1年35人学級。 ○個に応じたきめ細かな指導が可能。 ○中1ギャップの解消に効果がある。	●2年に進級する際、学級減となり、教員定数が減少することとなる。きめ細かな指導や対応が行いにくくなる。
23	1年36人、2・3年38人学級。 ○生徒の生活が落ち着く。生徒指導上も効果がある。欠席が減少する。	●学年進行により基準が変わることから、学級減、教員数減になり、教員の異動が激しくなることがある。
24	1年38人学級。 ○個々の生徒の状況への対応が可能。 ○中1ギャップ対応で効果が上がっている。	

25	<p>1年35人学級を希望する学校に認める。 ○生徒に目が行き届き、学校生活を安定化 ○教員数が増え、多様な教育活動が可能に</p>	<p>●学級増となり、教員が1名増えても、週時数が28時間となり、全体では教師の負担が増える。規模が小さいほど負担感が強い。講師対応の場合はさらに負担感が強い。</p>
26	<p>1年のみ弾力的運用を認めている。 ○中1ギャップの対応に効果が上がっている。</p>	<p>●中1だけの措置では不十分で、全学年に拡大すべきである。</p>
27	<p>困難校について30人学級実施。 ○きめ細かな指導ができ、保護者にも歓迎されている。</p>	<p>●30人学級にしても効果のない小規模校については、加配措置を行う必要がある。</p>
28	<p>一部の市町村で1年35人学級。 ○学習面・生徒指導面での対応は手厚くできる。 ○個に応じた分かる授業が展開できる。 ○中1ギャップの解消に有効。</p>	<p>●学級増に伴い、各教科の授業時数が増加し、負担が増えることとなる。 ●教員の指導力の差により効果が左右される。 ●該当教科の教員の持ち時数が増え、子供と向き合う時間がとれなくなる。</p>
29	<p>一部36人以上の場合、教員を加配。 ○中1ギャップの解消や不登校の未然防止で効果がある。</p>	<p>●定数増が講師対応のため、教員の質の確保が課題。</p>
30	<p>一部の市で35人学級。 ○個別指導ができ、きめ細かな指導ができる ○生徒の人間関係が密になる。</p>	<p>●教室の確保が課題。 ●教員の確保と質の向上が課題。</p>

学級数に応じた教員配置の標準 —標準法と試算との比較—

※定数は校長・教頭(副校長)・養護教諭を含まない。

学級数	教員定数と対学級数比率				標準法定数 と試算定数 との差(人)
	現行標準法の規定		試算(19時間)		
	教員数	比率	教員数	比率	
1	4	4.000	11	14.000	7
2	6	3.000	11	7.000	5
3	8	2.667	11	3.667	3
4	8	2.000	11	2.750	3
5	8	1.660	13	2.600	5
6	11	1.750	17	2.833	7
7	12	1.725	18	2.571	6
8	14	1.725	18	2.250	4
9	15	1.720	18	2.000	3
10	17	1.720	20	2.000	3
11	19	1.720	23	2.091	4
12	19	1.570	26	2.167	7
13	20	1.570	27	2.077	7
14	22	1.570	27	1.929	5
15	23	1.560	28	1.867	5
16	25	1.560	32	2.000	7
17	27	1.560	32	1.882	5
18	29	1.557	35	1.944	6
19	31	1.557	35	1.842	4
20	32	1.557	38	1.900	6
21	34	1.550	41	1.952	7
22	35	1.550	41	1.864	6
23	37	1.550	42	1.826	5
24	40	1.520	45	1.875	5
25	42	1.520	46	1.840	4
26	44	1.520	49	1.885	5
27	45	1.517	50	1.852	5
28	46	1.517	50	1.786	4
29	48	1.517	52	1.793	4
30	49	1.517	52	1.733	3
31	50	1.517	53	1.710	3
32	52	1.517	57	1.781	5
33	53	1.515	57	1.727	4
34	55	1.515	58	1.706	3
35	56	1.515	64	1.829	8
36	56	1.483	64	1.778	8
37	58	1.483	67	1.811	9
38	59	1.483	67	1.763	8
39	61	1.483	69	1.769	8
40	62	1.483	71	1.775	9
平均値		1.620		2.011	5.37

新学習指導要領の教科配当時数に基づく教員配置シミュレーション

※学級数は教科時数が最も多くなる組み合わせを代表値とし、3学級規模から40学級規模までをシミュレーションした。

学級数	学級数			校長	副校長	養護教諭	教科等の週時数合計と必要な教員数																				必要人数	現行定数	学級数
	1学年	2学年	3学年				※教員1人の週持ち時数を「19時間」として算出。技術家庭はそれぞれ確保を基本とする。																						
	国語	人数	社会				人数	数学	人数	理科	人数	音楽	人数	美術	人数	保健	人数	技家	人数	外国語	人数	学級	人数						
3	1	1	1	1	1	1	11	1	10	1	11	1	11	1	3.3	1	3.3	1	9	1	5	2	12	1	11.4	1	11	9	3
4	1	1	2	1	1	1	14	1	14	1	15	1	15	1	4.3	1	4.3	1	12	1	6	2	16	1	15.4	1	11	9	4
5	1	2	2	1	1	1	18	1	17	1	18	1	19	1	5.3	1	5.3	1	15	1	8	2	20	2	19.4	2	13	9	5
6	2	2	2	1	1	1	22	2	20	2	22	2	22	2	6.6	1	6.6	1	18	1	10	2	24	2	22.8	2	17	10	6
7	2	2	3	1	1	1	25	2	24	2	26	2	26	2	7.6	1	7.6	1	21	2	11	2	28	2	26.8	2	18	12	7
8	2	3	3	1	1	1	29	2	27	2	29	2	30	2	8.6	1	8.6	1	24	2	13	2	32	2	30.8	2	18	13	8
9	3	3	3	1	1	1	33	2	30	2	33	2	33	2	9.9	1	9.9	1	27	2	15	2	36	2	34.2	2	18	14	9
10	3	3	4	1	1	1	36	2	34	2	37	2	37	2	10.9	1	10.9	1	30	2	16	2	40	3	38.2	3	20	15	10
11	3	4	4	1	1	1	40	3	37	2	40	3	41	3	11.9	1	11.9	1	33	2	18	2	44	3	42.2	3	23	16	11
12	4	4	4	1	1	1	44	3	40	3	44	3	44	3	13.2	1	13.2	1	36	2	20	4	48	3	45.6	3	26	18	12
13	4	4	5	1	1	1	47	3	44	3	48	3	48	3	14.2	1	14.2	1	39	3	21	4	52	3	49.6	3	27	19	13
14	4	5	5	1	1	1	51	3	47	3	51	3	52	3	15.2	1	15.2	1	42	3	23	4	56	3	53.6	3	27	20	14
15	5	5	5	1	1	1	55	3	50	3	55	3	55	3	16.5	1	16.5	1	45	3	25	4	60	4	57	3	28	22	15
16	5	5	6	1	1	1	58	4	54	3	59	4	59	4	17.5	1	17.5	1	48	3	26	4	64	4	61	4	32	24	16
17	5	6	6	1	1	1	62	4	57	3	62	4	63	4	18.5	1	18.5	1	51	3	28	4	68	4	65	4	32	25	17
18	6	6	6	1	1	1	66	4	60	4	66	4	66	4	19.8	2	19.8	2	54	3	30	4	72	4	68.4	4	35	27	18
19	6	6	7	1	1	1	69	4	64	4	70	4	70	4	20.8	2	20.8	2	57	3	31	4	76	4	72.4	4	35	29	19
20	6	7	7	1	1	1	73	4	67	4	73	4	74	4	21.8	2	21.8	2	60	4	33	4	80	5	76.4	5	38	31	20
21	7	7	7	1	1	2	77	5	70	4	77	5	77	5	23.1	2	23.1	2	63	4	35	4	84	5	79.8	5	41	33	21
22	7	7	8	1	1	2	80	5	74	4	81	5	81	5	24.1	2	24.1	2	66	4	36	4	88	5	83.8	5	41	34	22
23	7	8	8	1	1	2	84	5	77	5	84	5	85	5	25.1	2	25.1	2	69	4	38	4	92	5	87.8	5	42	36	23
24	8	8	8	1	2	2	88	5	80	5	88	5	88	5	26.4	2	26.4	2	72	4	40	6	96	6	91.2	5	45	37	24
25	8	8	9	1	2	2	91	5	84	5	92	5	92	5	27.4	2	27.4	2	75	4	41	6	100	6	95.2	6	46	39	25
26	8	9	9	1	2	2	95	5	87	5	95	6	96	6	28.4	2	28.4	2	78	5	43	6	104	6	99.2	6	49	39	26
27	9	9	9	1	2	2	99	6	90	5	99	6	99	6	29.7	2	29.7	2	81	5	45	6	108	6	102.6	6	50	41	27
28	9	9	10	1	2	2	102	6	94	5	103	6	103	6	30.7	2	30.7	2	84	5	46	6	112	6	106.6	6	50	42	28
29	9	10	10	1	2	2	106	6	97	6	106	6	107	6	31.7	2	31.7	2	87	5	48	6	116	7	110.6	6	52	44	29
30	10	10	10	1	2	2	110	6	100	6	110	6	110	6	33	2	33	2	90	5	50	6	120	7	114	6	52	45	30
31	10	10	11	1	2	2	113	6	104	6	114	6	114	6	34	2	34	2	93	5	51	6	124	7	118	7	53	47	31
32	10	11	11	1	2	2	117	7	107	6	117	7	118	7	35	2	35	2	96	6	53	6	128	7	122	7	57	49	32
33	11	11	11	1	2	2	121	7	110	6	121	7	121	7	36.3	2	36.3	2	99	6	55	6	132	7	125.4	7	57	51	33
34	11	11	12	1	2	2	124	7	114	6	125	7	125	7	37.3	2	37.3	2	102	6	56	6	136	8	129.4	7	58	53	34
35	11	12	12	1	2	2	128	7	117	7	128	7	129	7	38.3	3	38.3	3	105	6	58	8	140	8	133.4	8	64	54	35
36	12	12	12	1	2	2	132	7	120	7	132	7	132	7	39.6	3	39.6	3	108	6	60	8	144	8	136.8	8	64	55	36
37	12	12	13	1	2	2	135	8	124	7	136	8	136	8	40.6	3	40.6	3	111	6	61	8	148	8	140.8	8	67	57	37
38	13	13	12	1	2	2	140	8	126	7	139	8	139	8	41.9	3	41.9	3	114	6	64	8	152	8	144.2	8	67	59	38
39	13	13	13	1	2	2	143	8	130	7	143	8	143	8	42.9	3	42.9	3	117	7	65	8	156	9	148.2	8	69	60	39
40	13	13	14	1	2	2	146	8	134	8	147	8	147	8	43.9	3	43.9	3	120	7	66	8	160	9	152.2	9	71	61	40

※「学級」は道徳・特別活動・総合的な学習の時間に学級数を乗じた数値を示す。人数はその数字を19で除した数字であり、便宜的に学級担任の必要数を算出したもので

学級編制及び教職員定数の標準に関する法律(標準法)による教職員定数

学級数	校長	教頭・教諭等		加 算		
		配置数	7条1項	7条2項	7条3項	7条5項3
1	1	4	4.000			
2	1	6	3.000			
3	1	8	2.667			
4	1	8	2.000			
5	1	8	1.660			
6	1	11	1.750			
7	1	12	1.725			
8	1	14	1.725			
9	1	15	1.720			
10	1	17	1.720			
11	1	19	1.720			
12	1	19	1.570			
13	1	20	1.570			
14	1	22	1.570			
15	1	23	1.560			
16	1	25	1.560			
17	1	27	1.560			
18	1	29	1.557		1	
19	1	31	1.557		1	
20	1	32	1.557		1	
21	1	34	1.550		1	
22	1	35	1.550		1	
23	1	37	1.550		1	
24	1	40	1.520	1	1	2
25	1	42	1.520	1	1	2
26	1	44	1.520	1	1	2
27	1	45	1.517	1	1	2
28	1	46	1.517	1	1	2
29	1	48	1.517	1	1	2
30	1	49	1.517	1		2
31	1	50	1.517	1		2
32	1	52	1.517	1		2
33	1	53	1.515	1		2
34	1	55	1.515	1		2
35	1	56	1.515	1		2
36	1	56	1.483	1		2

37	1	58	1.483	1		2
38	1	59	1.483	1		2
39	1	61	1.483	1		2
40	1	62	1.483	1		2

全日本中学校長会「学級編制に係るアンケート調査」集計結果(調査時期＝平成22年1月)

◎少人数指導の効果と課題について

【効果】 ○個に応じた指導がきめ細かく行うことができる。 ○生徒の実態をよりの確に把握できるようになり、個別指導が行いやすくなる。 ○学習指導面では、関心・意欲を高め、学力向上を図ることができる。 ○生徒指導面では、一人一人の生徒の発達課題を把握し、的確な個別指導が可能となり、学校への適応を円滑に行いやすくなる。 ○教員増により、仕事分担が軽減され、生徒と向き合う時間を確保しやすくなる。 ○教師と生徒との人間関係がより緊密になり、学習面・生活面両面での成長を促すことがしやすくなる。 ○教員間の切磋琢磨により、資質向上が図られる。	【課題】 ●習熟度別だけでは、学習集団が固定しやすく、少人数指導の効果が減退させられる場合が見られる。 ●教員間の連携を密にするための時間確保が大きな課題である。 ●2学級3展開だと、生活指導上の配慮で編制した学級が解体され、指導効果が薄らぐ場合がある。 ●加配が正規教員でない場合が多く、講師対応、免許外指導など、指導の質の維持・向上に課題を生じる。 ●施設面で、教室確保が困難な学校がある。 ●教員の持ち時数の偏りが生じやすい。
---	---

No.	効果	課題
1	○学習の遅れがちな生徒に対する個別指導がよりやりやすい。 ○習熟度別指導など多様な学習形態が可能に	
2	○きめ細かな指導が可能となる。特に習熟度別の場合、基礎クラスの生徒の個別指導が可能。	●習熟度別だけでは学習集団が固定化し、弊害も生じやすくなる。学習集団の人数や形態等を弾力的に編制する必要がある。
3	○数学・英語など学習の積み上げが必要な教科では個に応じた指導が効果的である。	●数学・英語に限定せず、他教科も実施対象とする必要がある。
4	○チーム・ティーチング、コース別や習熟度別少人数指導など、教科や内容によって多様な指導法を行うことができる。	
5	○少人数指導の導入により、授業改善のための研修が充実し、教師の指導力の向上に効果を上げている。	●教師の指導力の向上を恒常的に図ることが重要である。
6	○児童生徒の評価が高い。保護者からも。 ○生徒指導面での効果も大きい。	●TT指導の場合、教員間の打合せ時間の確保が困難である。 ●少人数指導の場合、教室の確保が課題。
7	○一人一人の生徒に関わる回数・時間数が多くなり、個に応じた指導が有効である。	●習熟度別での授業形態を固定すると、基礎コースで学習意欲の低下が見られ、指導が難しくなる。柔軟な指導を考える必要がある。
8	35人学級。 ○個に応じた時間が確保され、よりきめ細やかな対応ができる。	●学級増に伴う教室の確保が課題。 ●生徒数と指導効果の関係の見極め
9	○きめ細かな指導が可能となり、基礎学力の定着がはかれる。 ○教員の情報交換が密になり、指導力向上。	●習熟度別：学習集団の固定化の弊害 ●教員の打合せ時間の確保が課題 ●指導法の工夫改善が不可欠。
10	○教科指導が充実し、学力向上に大きな効果が現れている。	
11	○習熟度に応じたきめ細かな指導ができる。 ○少人数集団のため、生徒も質問・発表など言語活動が活発になる。	●加配教員が少なく、特定の学年、教科での実施しかできない。全学年でより多くの教科で実施できるようにしてほしい。

12	○きめ細かな学習指導が可能となり、学習意欲を高めることができる。 ○個人内評価を丁寧に行える。 ○生徒一人一人との会話・相談が可能	●2学級3展開では時間割作成に困難が。 ●生徒指導面での配慮が崩れる。 ●非常勤講師対応では打合せ時間の確保が課題。
13	○個に応じたい指導の充実。 ○より主体的な自己表現の学習の場が競ってできる。 ○教員数の増加により、切磋琢磨校内研修の充実が図られる。	●学力検査等において、明確な効果を見いだすことができない。
14	○きめ細かな指導が可能となる。	●教科によって学習集団が異なることから、人間関係に課題のある生徒にとっては、適応に課題を生じることがある。
15	○指導が行き届き、生徒・保護者からも好評。	●指導法の工夫が必要である。 ●打合せや指導記録記載等に時間がとられる。
16	数学や英語等で導入。生徒の学びの過程を丁寧に指導できるなど、その効果は高い。	少人数指導に見合う授業改善がなかなか図られず、教科指導における改善策が強く求められる。
17	○生徒がよく見え、きめ細かな指導ができ、個に応じた指導が充実する。	
18	○教師と生徒との人間関係が深まる。 ○情緒面(関心・意欲・態度)の向上は評価できる。	●効果を数値的に証明することは困難。
19	○生徒個々の実態に合わせた、きめ細かな指導が可能となる。	
20	○教師の一人一人の生徒に向き合う環境が格段に向上する。個別指導の充実、家庭との連携の密接化 ○生徒の発言機会が増えるなど、個別支援がしやすくなり、基礎基本の定着が図られる。生徒の学習意欲が高まる。	●教員の質の向上 ●該当教科の教員の持ち時数の増加による加重負担。 ●教室の確保など施設面の課題
21	○学習指導面、生徒指導面で効果を上げている。学力向上、問題行動・不登校防止に最も効果的な施策。	●通常学級に在籍する特別支援を要する生徒への指導の困難性は解消されない。別途指導教員の加配措置が必要である。
22	○生徒一人一人に目が行き届き、基礎学力の定着、習熟度に応じた課題にも取り組ませることが可能となる。	●教員の人数の確保、教室の確保が課題。
23	○習熟度別授業やチームティーチングで、きめ細かな指導が行えている。	●教科が限られていたり、加配人数が限られているため、少人数指導の良さを広げられない。国の定数措置・財源措置が不可欠である。
24	○きめ細かな指導ができ、個々の力を把握しながら、個に応じた指導が可能となる。 ○発表の機会が増え、学習意欲の向上に大きく寄与している。 ○生徒指導面、進路指導面でも効果がある。	●加配教員の増員が必要である。
25	○一人一人の生徒に目が行き届き、個別指導がしやすい。 ○習熟度別授業により個に応じた指導が可能	●免許を持った教員が揃わず、TT指導にせざるを得ないことがある。
26	○よりきめ細かな指導ができる。個に応じた対応ができ、集中力を高め、理解度や定着度を高めることができる。	●教員の不足(対象教科が限られていることにより、その教科だけに集中し、不足が生じる。)

27	○学習に対する関心・意欲を高めることはもちろん基本的な生活面での指導も可能となる。	●加配教員が足りず、3年間を通して行うことが難しい。
28	○習熟度別を取り入れ、個に応じた指導ができ、成果は確実に大きい。 ○多様な指導方法をとることができ、指導方法に工夫改善が進んできた。	●教室の確保が課題である。 ●少人数指導力とともに、一斉多人数指導力の身につけさせる必要がある。
29	○実技や実験等の安全管理の徹底 ○教師相互の協議により授業改善が推進 ○学習意欲の高揚、学力の向上	●少人数指導の教科の評価研究が不足 ●授業時数の増加により時間が制限される ●教員の持ち時数の偏り ●習熟度別編制に対する生徒・保護者の理解
30	○少人数指導により、きめ細かな指導が可能となり、学力の定着・向上が期待できる。	●教科が限定されている。 ●教室の確保が課題。
31	○TTや習熟度別指導により、個に応じたきめ細かな指導ができる	●少人数指導の効果的な学習形態・指導方法等について研究・改善工夫が必要である。 ●加配教員の効果的な配置について検討する必要がある。
32	○きめ細かな指導が可能となり、学力の向上に大きな効果が見られる。 ○習熟度別指導が最も効果が高い。	●免許外教員を排するために人材確保の配慮が必要である。 ●教員の指導力の向上が必要である。
33	○学力向上が顕著である。 ○教師と生徒の人間関係が向上し、生徒指導に効果がある。 ○成績下位層の底上げが顕著である。	●習熟度別指導に限定するのは好ましくない。 ●教科が限定されている。 ●報告書など事務処理が多くなる ●全ての学校に配置されていない。
34	○数学・英語で実施。生徒の集中力が高まる。 ○きめ細かな指導が行える。 ○困難な状況を乗り越える学校が増加。	
35	○個に応じたきめ細かな指導ができる。 ○学力の低い生徒に学力向上の効果。 ○生徒理解が深めることができる。	●教室の確保が課題である。 ●指導方法の工夫改善が必要。
36	○生徒との関わりが密接になる。 ○指示や指導が通りやすく、落ち着いた態度で授業を受けることができる。	
37	○生徒個々の実態に即した指導の充実 ◎習熟度に応じた指導が徹底できる	●生徒個々に応じた指導計画の作成力の向上 ●教員の数の確保と指導力の向上
38	○個に応じたきめ細かな指導が可能。基礎基本の確実な定着に大きな効果。 ○自尊寛恕運所育成、協調性の向上	●指導法法の改善 ●学校の実態に応じた弾力的な運用が可能となる加配措置が必要
39	○生徒の学力差、関心・意欲等をつぶさに把握でき、より※細かな指導ができる。 ○個に応じた指導が可能。学力向上に成果。	●加配教員数が限られており、教科も限られる。
40	○多様で柔軟な学習集団編制ができ、効果的な授業展開ができ、学習意欲も高まった。 ○個に応じたきめ細かな指導により、学習への苦手意識を軽減することができる。	●教室増などの施設面の整備が必要 ●習熟度に対する生徒・保護者の理解

臨時免許による教科指導者数

※全日本中学校長会教育情報部調査(平成21年5月1日現在)

都道府県・市名	国語	社会	数学	理科	音楽	美術	保体	技術	家庭	英語	合計
都道府県小計	264	266	506	185	92	1031	542	1747	1937	241	6811
政令市小計	30	31	61	7	7	36	38	57	89	12	368
総計	294	297	567	192	99	1067	580	1804	2026	253	7179

「中学校教育に関する調査 平成21年度」(平成21年8月 全日本中学校長会教育情報部)より